

イノシシってどんな動物？

被害防止対策のためにはまず相手を知ることが重要です！
生態を知ったうえで有効な対策を行いましょう。

【生態】

人間が天敵なので夜行性だと思われがちですが、本来は昼行性です。雑食性で稲やイモ、ミミズなど基本的になんでも食べます。

【行動】

オスは単独で行動しますが、メスは基本的に子や姉妹と群れで行動します。行動パターンは移動と定着を繰り返しますが、耕作放棄地等をすみかにしています。

【繁殖】

ほぼ毎年春に出産をします。基本的に年1回の出産で平均4～5頭を産みます。

跳ぶ！

成獣の場合、助走なしで120 cmの障害物を跳び越えます。



鼻を使う！

鼻で押し上げる力はオスで70 kg、メスでも50 kgになり、大きな石も動かせます。



くぐる！

地面から20 cmくらいのすき間でもくぐり抜けます。



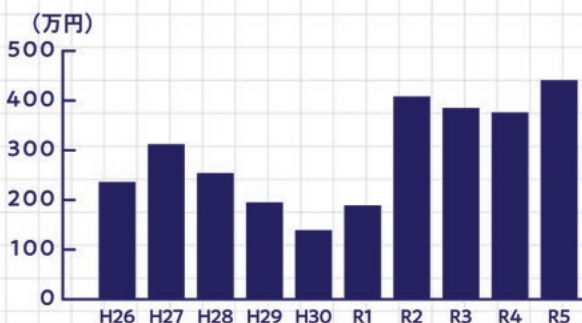
剛毛！

体は太い剛毛で覆われているため、鼻と腹を除いて電気ショックも効きません。



身体能力

武雄市 過去10年の 被害額



有害鳥獣から

地域を守る

今日からできる 被害防止 対策

捕獲頭数



2,735 頭

令和5年度イノシシ・アライグマ・アナグマの実績

全国と武雄市の 鳥獣被害等の現状

全国の野生鳥獣による農作物被害総額は約164億円(令和5年度)であり、6割がイノシシとシカによる被害となっています。農作物被害は営農意欲の減退、耕作放棄、離農の増加等、数字に現れる以上に深刻な影響を及ぼしています。また、エサを求めて住宅街まで近づき、人に危害を加えるケースが各地で見られています。

武雄市ではイノシシによる農作物被害が最も多く、平成20年度には約1400万円の農作物被害がありましたが、侵入防止柵の整備など対策が進められ平成30年度には約140万円まで軽減しました。しかし、令和元年度以降、豪雨災害によりワイヤーメッシュ柵や電気柵が流された影響もあり、被害額は再び増加してきています。さらなる被害を防ぐため、私たちにできる対策について考えてみませんか？